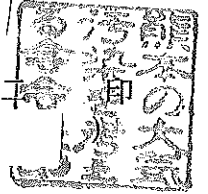


平成31年 3月 29日

(あて先) 熊本市長

団体名 熊本の大気汚染を考える会

代表者 職名 会長 氏名 中嶋弘二



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成30年 4月 1日付け指令(地活)第1-11号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第20条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

熊本の大気汚染測定運動を通して郷土の環境保全を図る活動

2 助成事業の実施期間

平成30年 4月 1日 ～ 平成31年 3月 19日

3 助成事業の内容

大気汚染測定運動東京連絡会の協力を得ながら、夏と冬年2回、熊本市内を中心に県内400カ所の大気汚染測定を実施し、熊本の大気汚染の状況を調べた。また、「熊本の大気汚染状況について」のパネル展や講演会などの実施活動を通して「環境にやさしい生活」を心がける市民を増やすとともに会員の増員に努めた。

4 事業の成果

助成事業として、夏・冬年2回の大気汚染測定の実施や「熊本の大気汚染状況について」のパネル展や講演会の実施などの活動を通して「環境にやさしい生活」を心がける市民を増やすとともに会員の増員に努めた。今後とも、「熊本の大気汚染測定活動」を通して、安心・安全な熊本の街づくりに貢献していきたい。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書(様式第16号)
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業報告書

平成30年度	
事業名	熊本の大気汚染測定運動を通して郷土の環境保全を図る活動
目的	熊本での大気汚染測定運動を通して、「環境保全を図る生活」に取り組むと共に、その活動を市民に広げていきます。具体的活動として、1. 全国一斉大気汚染測定(夏・冬年2回)に参加します。2. 大気汚染測定の体験を多くの人に広めることにより、大気汚染公害をなくし、健康的なまちづくりや地球温暖化防止に関心を持つ市民を増やします。3. パネル展や環境教育講演会等を通して、市民へ環境問題に取り組む場を提供します。
事業期間	平成30年4月1日～平成31年3月19日
具体的な事業内容	「熊本の大気汚染を考える会」は、大気汚染測定運動東京連絡会の協力を得ながら、夏・冬年2回の大気汚染測定を継続して実施して26年になります。熊本県内400カ所の大気汚染の測定を実施し、その結果をまとめて、県・市の環境保全課や新聞社にも資料提供を行ってきました。また、積極的に「環境フェア」での展示アピールや小・中学校等において環境教育講演会「熊本の大気汚染について」も実施してきました。 今年度の熊本市市民公益活動支援助成事業に認められ、「熊本の大気汚染測定運動を通して郷土の環境保全を図る活動」に積極的に取り組み、「環境にやさしい生活」を心がける市民や会員を増やすと共に健康で安全な熊本のまちづくりに取り組むことができました。 具体的な活動取り組みとして - 夏(6月)・冬(12月)の2回の大気汚染測定に取り組みました。 大気汚染測定運動東京連絡会の協力を得ながら、測定用カプセルの準備・配布、測定後の回収・整理、そして、結果データの分析等を行いました。結果をまとめ、会報「大気汚染を考える会ニュース53号」を発刊し、会員や測定協力者等に配布しました。現在「54号」を作成中です。 - 市民への活動報告や新会員勧誘活動に取り組みました。 1) 山鹿市教育委員会からの依頼で、平成30年8月29日山鹿市市民センターにおいて市民生涯学習講座「熊本の大気汚染の状況について」の講演を行いました。約40名の市民を対象に「測定結果の年次比較」「熊本市の児童のぜん息罹患率の年次変化」「25年間の会の活動」について説明することができました。 2) 平成30年11月18日「あいぽーと文化祭2018」に参加し、「熊本の大気汚染を考える会活動」「熊本の大気汚染状況」についてのパネル展を実施しました。主催者アンケートの結果、本ブースは2番目に高い「良かった。関心がある」を頂きました。また、参加者から「冬の測定をやってみたい」と自主的に体験を申し出られた方が12名いました。 3) 平成31年2月23日、熊本市兎谷公民館(清水北老人憩いの家)において「熊本の大気汚染状況について」の講演会を行いました。参加者は7名で、事前に測定していたカプセルとスポイト式比色計を使って、その場で、NO₂濃度を検知する実演も実施し、大気の汚れ具合を認識することができました。 4) 会員募集チラシを作成し、新会員の募集活動に取り組みましたが、思うような増員に繋げることができませんでした。 「自治体の環境保全課」や「学校や新聞社」等への測定結果や資料の提供、行政やマスコミ等と協力した「大気汚染対策」への取り組みは、十分にはできませんでした。
実施場所	山鹿市民センター 熊本市兎谷公民館 あいぽーと
事業の効果・公益性	だれでも簡単に測定できる小型プラスチックカプセルを使った大気汚染測定を市民や児童・生徒に体験してもらうことにより、大気汚染が身近な問題であることに気付き、大気汚染対策について考えるきっかけづくりなることを期待します。

次年度以降 の事業展望	来年度も「あいぼーと文化祭」をはじめ、「環境フェア」等の市民参加イベントに積極的に参加して、「熊本の大気汚染を考える会活動」「熊本の大気汚染状況」や「ぜん息児童の割合の年次比較」などについての「パネル展」を通して会のPR活動に取り組んでいきます。今後も、「環境問題に関心のある市民」「子どもたちに良い生活環境を作ってあげたいと思う市民」のネットワークを広げていきたいと思っています。
事業への想 い（当事業 によってど のような熊 本市にして いきたい か）	積極的に小・中学校での「環境教育講演会」や市民を対象にした「熊本の大気汚染状況について」「大気汚染と健康について」等のテーマで生涯学習講座を実施していきたいと考えています。多くの市民が「便利さ快適さばかりを追求しないで、自分たちができる大気汚染対策や環境保全活動について考え、行動できる」ように啓発活動を積極的取り組み、「健康で安全であり、住みやすい熊本のまちづくり」に貢献していきたいと思っています。

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳		
収 入	自己資金	74,000	会費 2,000円×37=74,000円		
		0	事業収益		
		22,971	その他 前年度繰越金 22,971円		
	市民公益活動支援助成金	180,000	当該事業に対する助成希望額		
	その他の補助金・助成金	0			
	寄附金・協賛金	0			
	その他	0			
計		276,971 -			
支 出	助成対象経費	人件費	0		
		報償費	0		
		役務費	45,085 -	2. 切手代 8,000円 ✓ 東京熊本カプセル送料往復 @2,000円×往復×2回=8,000円 4. 切手代 485円 ✓ 6. 切手代 20,200円 ✓ カプセル送料 @120円×50名×2回=12,000円 ✓ 結果通知・会報誌送料 @82円×50名×2=8,200円 ✓ 12. 切手代 16,400円 ✓ 結果通知・会報誌・パネル展案内・講演会案内送料 @82円×50名×4=16,400円 ✓	
		使用料・賃借料	500 -	15. 講演会会場使用料 500円 ✓	
		事務費	225,286 -	1. コピー代 50円 3. 夏測定用カプセル 80,000円 測定用カプセル@200×400本=80,000円 ✓ 5. スポイト式比色計 20,000円 7. パネル製作 2,500円 ポスタープリント代 ✓ 8. パネル製作 13,500円 パネルフレーム ✓ 9. 冬測定用カプセル 80,000円 ✓ 測定用カプセル@200×400本=80,000円 10. 資料作成費 9,417円 記録資料作成用写真台紙 ✓ 11. 事務用品 5,111円 事務用品・用紙・封筒 ✓ 13. 資料作成費 4,492円 写真現像 14. 資料まとめ 10,216円 チューブファイル ✓	
		旅費	0		
		委託費	0		
		その他	0		
		小計	270,871 -		
		外経費	助成対象	6,100 -	パネル展スタッフ弁当代 @500×5=2,500円 ✓ 講演会スタッフ弁当代 @600×6=3,600円 ✓
			小計	6,100 -	
		計		276,971 -	